

委員会 審査報告

※ 令和4年度予算を含む議案等の審査が、3つの常任委員会（総務、文教福祉、環境生活）に付託され、各委員会において慎重に審査が行われました。その審査内容の一部について、掲載しています。

▼総務委員会

令和4年陳情第1号 日本国政府ウイグル人権決議に関し国に意見書を提出することを求める陳情書について
委員より意見があつた後、採決の結果、賛成少数で不採択とすることに決しました。

委員 人権の抑圧、あるいは暴力というのは、絶対許されるべきではないし、毅然とした態度を示すべきものであるから、私は採択いたします。

委員 陳情趣旨には、すべてとは言いませんが、事実認定が難しい表現が多く含まれています。

また、非常に重要な問題だと認識していますが、外交の要素が強く、デリケートな部分があるため、地方議会にはなじみにくく、市議会が持つ市民福祉の向上という目的とは、直接的には符合しないところがあると感じておりますので、**不採択**とさせていただきます。

委員 中国政府による人権侵害や抑圧は、世界人権宣言や国際人権規約、ウィーン宣言などの国際的な人権保障の取組に反するものだと思います。こういった人権侵害についての陳情内容は認められますが、陳情趣旨については、事実関係が精査されていないと思いますので、**不採択**といたします。

▼文教福祉委員会

議案第11号 龍ヶ崎市北文間運動場に係る指定管理者の指定（対象施設の追加）について、委員より質疑があつた後、採決の結果、**全員異議なく了承**しました。

委員 スポーツサロン北文間館では、こういった事業をされる予定ですか。

スポーツ都市推進課長 スポーツ教室や体操教室、ヨガ教室を考えております。また、教室という特性を生かし、夏休み期間中に自由に宿題をしていたくとも考えております。

委員 龍ヶ崎は、これからスポーツに力を入れるということで、色々な取組が作られていくと思います。当市では、オリンピック選手等も出ておりますが、そういった方達の競技を踏まえ、何かお考えはありますか。

スポーツ都市推進課長 今年度から流通経済大学のトライアスロンの田山先生に依頼し、サイクリング講座教室を開催しております。発着地点を北文間館とし、小貝川や利根川に行つて帰ってくるというもので、トライアスロンの部の部員や当市にもトライアスロンの選手がおりますので、そういった方が講師となり、講座を開催しております。今後、サイクリング等に力を入れていきたいと考えております。

▼環境生活委員会

議案第23号 令和4年度 龍ヶ崎市一般会計予算の所管事項について、委員より質疑があつた後、採決の結果、**全員異議なく了承**しました。

委員 たつのご産直市場について、人件費を含めて管理運営費が3000万円以上、使用料収入が約894万円で、毎年2000万円以上の赤字となりますが、今後の運営方式をお伺いします。

農業政策課長 正職員2名分の人件費を含め赤字という現状ですが、現在、売り上げ収入も伸びたことで、手数料を引き上げました。なお、建物のリース代金が令和4年度で終了するので、それを引くと、かなり減額となります。

また、施設の設定目的は、市民の地産地消と本市の農業の振興を図ることが第一の目的としていますので、現時点では市が直営でやるのが適切であると考えます。

委員 市の農業振興のために必要と理解しましたが、いくらでも赤字を出しているということでもないのに、運営面については改善を行っていただきたいと思ひます。

委員 市が運営することで農業者への補助や、利用者も安心感があると思いますので、ここ数年はしばらく今のままの体制でやっていただきたいと思います。

「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議案」を可決しました

ロシアによるウクライナへの侵攻は、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙であり、ウクライナに拠点を持つ日本企業をはじめ、現地在留邦人は緊迫した状況のなか、安否確認の対応に追われる等、厳しい状況におかれている。このような力を背景とした、一時的な現状変更への試みは明白な国際法違反であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので断じて看過できない。

ここに龍ヶ崎市議会は、ロシアに対し、一連のウクライナへの軍事侵攻に厳重に抗議するものである。

政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り即時無条件でのロシア軍の完全撤退を求めるべきである。

以上、決議する。

令和4年3月4日

龍ヶ崎市議会